



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あつたかウェルねっとニュース 第34号
 2020年3月25日発行

ホームページアドレス <http://attaka2018.starfree.jp/>

2011年3月11日の東日本大震災より9年が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あつたかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

活動20年目の大きな宿題「共に生きる」

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク(あつたかウェルねっと)
 代表 横田八枝子

今、まさに青天の霹靂の日々が続いています。
 誰もが突然発生した新型コロナウイルスに振り回され、世界中に感染が拡大し、日本でも感染者が増え続けるなか、治療方法も収束の時期も見えてこない状況に悩まされています。加えて、東京五輪・パラ開催が急遽2021年に延期決定されました。

あつたかウェルねっとは、平成13年からこれまで「共に生きる」「ノーマライゼーションの具現化」「ふだんのくらしのしあわせ」を合言葉に県域のみなさまと出会い、学び合いを重ねてきましたが、令和2年は大きな宿題をもらいました。

現在は外出も制限されている不安な状況ですが、慎重に対応しながら、令和2年も変わらず、出会い、学びあいながら、「ふだんのくらしのしあわせ」を合言葉に、活動を続けていきたいと存じます。

新年度20年目の活動は、難題を学びとして捉え、これまで以上に皆様方のお知恵をいただきながら、困難な状況でも「共に生きる」底力をつけていけるよう、何卒ご支援の程、よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、あたたかくご支援ご指導を賜っている皆々様に、心よりお礼申し上げます。

総会&
研修会

お知らせ

下記のとおり5月10日(日)に総会・研修会を行ないます。是非、ご参加ください。

2020年度 ねっと総会

開催日:2020年5月10日(日) (受付9時15分~)
 開始:9時30分 議事終了:10時10分(予定)
 会場:彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
 (JR 京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)
 対象:正会員・賛助会員及び会員を希望する方
 年会費:正会員 1,000円
 賛助会員 1口:500円

総会終了後に、2020(令和2)年度の福祉教育研修会を行ないます。

事前の申込みが必要です!

2020年度 ねっと研修会

-あつたかウェルねっとプレ20周年事業-
「共に生きる、地域で共に生きる」
 ~子どもの可能性の大きさと地域づくり~

2025年に向けて、年々変化する福祉課題・生活課題の現状を捉えながら、自分を大切に、他者も大切に、そして「自分のしあわせ!みんなのしあわせ!」を実現できるよう、様々な立場の人たちが出会い、学びあい、地域で共に生きる力を育み、豊かな地域共生社会を目指します。

開催日:2020年5月10日(日) (受付10時20分~)
 時間:10時40分~15時40分

会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
 講師：原田正樹氏（日本福祉大学副学長・教授）
 鈴木大輔氏（NHKテレビ・ラジオ体操指導者・社会福祉法人にじのいえ むぎのこ保育園理事長）
 対象：福祉教育実践者・実践予定者・関係者・関心のある人（学生を含む）
 参加費：1,000円 学生 無料
 定員：40名（定員になり次第締切り）
 ※持ち物：特になし。服装は自由です。
 ※各自で昼食をご用意ください。
 すこやかプラザ周辺には飲食店がありません。

内 容

- (1) 対談講演会「共に生きる、地域で共に生きる」
～地域福祉と社会福祉の重なるところ～
登壇者：原田正樹氏（メインコーディネーター）
鈴木大輔氏（ゲストスピーカー）
- (2) 昼食タイム～交流・情報交換～
- (3) トークスペシャル：鈴木大輔氏
「健康としあわせに繋げる地域づくり」
～子どもから大人までイキイキと暮らす～
(実践*体操*カラダ*健康の仕事人)
- (4) グループワーク
「みんなでダイアログ・タイム」
ダイアログ（対話）しよう！
テーマ：健康って、幸せってなあに？
 1. 最初に全員が短く一言ずつ（チェックイン）
 2. 自分の考えを出し合う、他人の意見を尊重する、共感して他人の意見を受け止める。
 3. 結論を急がず、問い合わせ続ける。

♥ 対話を通して一緒に創りましょう！
- (5) まとめ「共に生きる」

※事前の申込みをお願いします。

氏名・連絡先・市町村・所属をお知らせください。
 申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)
 メールアドレス masako@niconico39.net

【注】新型コロナウイルス感染拡大防止のためプログラムの変更、延期等が生じる場合があります。その場合は、HP、Facebook、会員メーリングリスト等でもお知らせします。

報 告 研修会その2

2019年度 ねっと研修会その2

「地域共生社会と福祉教育」 ～福祉教育実践を県内に広げよう！次世代に伝えたい！一人ひとりを大切に思う福祉観～

ねっと研修会その2は、2020年1月24日（金）坂戸市文化施設オルモ情報研修室で行なわれ、様々な立場の方々、各地の社協関係者、講師、事例発表者、スタッフなど約40名が一堂に会しました。

これまで福祉教育と縁が薄かった分野からの参加もあり、視覚障害者と仲間の活動、拡大写本、パソコンボランティア、家庭教育アドバイザー、コミュニティサロン、学童保育、時間預託制度、町あるきガイド、環境サポート等、多彩な活動がありました。気づきや新たな出会いが沢山生まれ、地域共生社会の実現に向けて、福祉教育について、さらに多様なつながりを感じる研修会となりました。

☆講演「地域共生社会と福祉教育～生きづらさを抱える人々の視点から～」 講師：中島 修氏



（文京学院大学准教授）
暮らしの中にある一人一人の大小様々な生きづらさ、それらをどのように理解し合うのか、互いに理解し合い分かち合っていくか等、地域共生社会の実現に求められる大切な視点の投げかけがありました。

☆昼食タイム～全体交流～

情報交換やイベント告知や活動紹介等情報提供がたくさんありました。

☆医療的ケア児の親の会

mamacare～ママケア

会長と息子さん、副会長の三人に医療的ケア児との日常を動画とともに語っていただき、特別な時間となりました。



☆事例報告：難病当事者の奥野 真由氏（埼玉 IBD の会）



から、難病と向き合う中で気づいたことや、生きづらさとの折り合いについて知ってほしいこと。それぞれ共通点で繋がり合う場が大事なことなど事例プログラム作成時から進展した体験も含めて、安心して集える場が必要との話がありました。

☆グループワーク

「語り合う～ほのかに感じる生きづらさ～」

幅広い年齢層の様々な立場の人がいろいろな話題で語り合い、充実した時間となりました。

～参加者の感想より～

「まさに”安心して語れる場”だったと思います。中島先生のまとめにあったように、語り合える場と相手がある。居るという事が大切と私も思った。他者理解→理解しようとする、寄りそう気持ちが大切と思う。」などの声が寄せられました。

報 告 い ろ いろ

人事院関東地区中堅係員研修で講師 今年度で6年目

2019年 令和元年11月20日（水）、人事院公務員研修所（入間市）にて、講義・疑似体験「相手の視点に立って考える」を担当しました。

4日間の研修の2日目でしたが、48名の研修生の方々は、初めての疑似体験やグループ討議に、今後の業務に活かすべく熱心に取り組んでいました。後日、以下のような札状が届きました。

☆研修員からは「自分の視点以外で物事を考えることの大切さを実感することができた。」「自分自身は相手の視点に立って考えている方だと思っていたが、まだまだ不足しているということに気付かされた。」「相手の立場や視点に立つこと、善意を押しつけることは異なるということを、疑似体験を通じて実感することができた。」などの意見が寄せられており、本教科目の所期の目的を十分に達成することができたものと感謝いたしております。

With you さいたまフェスティバル 2020年2月

2020年2月7日（金）～9日（日）、埼玉県男

女共同参画推進センター（With You さいたま）で行なわれたWith You さいたまフェスティバルに参加しました。

あつたかウェルねっと展示ブースで、多様な方々と交流をしました。



まなびばしやべりばカフェ 冬カフェ～本音トーク～

2020年2月21日（金）、坂戸市文化施設オルモで、冬カフェを行ないました。

木野登紀子ねっと副代表（毛呂山町）の「本音トークとは」のミニ講話の後、11名の参加者は思い思いに語り合いました。



福祉教育実践プログラムの報告～終了

2018年8月発行の若者への福祉教育研究会報告書「次世代の共生力を育むための福祉教育実践プログラム集～埼玉発！草の根からのプログラム～」では、ねっと会員のプログラムも多数掲載されています。この2年間で、アドバイザーの助言もいただきながら報告会を重ねてきましたが、2020年2月1日（日）に吉田より子ねっと副代表（嵐山町）の発表があり、ねっと執筆者の最終報告になりました。ご助言くださった宮脇文恵先生（宇都宮短期大学）、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。今後もプラッシュアップや地域への広報を続けていきましょう。



若福研究会コーナー

若者への福祉教育研究会は、2016年8月に設立して、まもなく5年となります。現在は、2つのプロジェクトのまとめの作業を行っています。

一つは、「若者プロジェクト」として、高校生や大学生が中心となって活動している7つのボランティア団体について、活動者である若者たちが情

報交換やネットワークづくりを行いながら、研究を行ってきました。実践している若者自身にとっての価値や意義について確認し、さらにその対象となる方々（障がい児・者、子ども、高齢者）や社会にとっての意義を見出していました。



もう一つは、「施設プロジェクト」として、子ども・若者を受入れる側である福祉施設の取組について、菱沼幹男先生（日本社会事業大学）等にご協力いただき、施設職員が実践プログラムを出し合い、12回におよぶ研究会を実施してきました。

「若者プロジェクト」「施設プロジェクト」とも、福祉教育実践プログラム集として、今春には報告書としてまとまる予定です。

県社協からの情報

今年度、県社協では福祉教育の取組として下記の事業を実施し、皆様に地域活動の取組への理解を図りました。

◆生活支援センター養成事業

隣近所の“さりげない気遣い”“ちょっとした目配り”など地域に関心を向けていただく応援者を3, 982名（見込）養成しました。

◆福祉教育推進者研修

これまで以上に、学校・地域が連携し、さらに福祉教育を推進することを目的として開催しました。本会から調査・研究事業の調査結果報告のほか、学校・社協から2名に実践報告いただきました。

その他にも、「小中学生作文コンクール」や市町村社協を通じて小学校に図書を貸し出す「福祉図書デリバリー事業」、ボランティア活動に関する高校生対象の「ヤングボランティア交流会」などを実施しました。

令和2年度も引き続き、地域共生社会の推進に

向けた取組を実施して参ります。

事務局情報

昨年11月、メーリングリストが変わりました。

これまで利用してきたFreeMLのサービス終了に伴い、11月よりグーグルグループMLに変更しました。新ML : attaka-net@googlegroups.com

登録アドレスの変更や問い合わせ等がありましたら事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865(FAX)
メールアドレス : masako@niconico39.net

若者への福祉教育研究会の情報も

報告会や研究会が順次行なわれています。関心のある方はどうぞご参加ください。

- ・若者への福祉教育研究会HP
<http://wakafukuken.wixsite.com/saitama>
- ・フェイスブックのグループページ
<https://www.facebook.com/wakafukuken>

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武藏浦和支店・
普通預金口座番号：5015782
名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

情報提供のお願い

日頃の活動や地域の状況、感じしたことなど、皆さまの情報をお待ちしています。

編集後記

「密閉・密集・密接」の3密を避けながらコロナ感染防止に務める日々が続き、ともすると籠もりがちで気持ちも内向きになりがちです。不要な情報に踊らされることなく「正しく恐れ」て、心を寄せ合って収束の時を待ちましょう。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク（通称：あつたかウェルねっと）
編集：あつたかウェルねっと（情報担当）
連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課
TEL : 048-822-1435 FAX : 048-822-3078
Mail : vc@fukushi-saitama.or.jp